

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料

2020年度

| 客観的な指標の算出方法 | | | | | |
|--|------|---------|--------|--------|---------|
| 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化) | | | | | |
| 学科名 | 看護学科 | 学年 | 1年 | 学生数 | 71 |
| 成績の分布 | | | | | |
| 判定 | E | D | C | B | A |
| 指標の数値 | ～59点 | 60～69点 | 70～79点 | 80～89点 | 90～100点 |
| 人数 | 6 | 20 | 24 | 20 | 1 |
| 下位1/4に該当する人数 | | 18人 | | | |
| 下位1/4に該当する指標の数値 | | 65.8点以下 | | | |

卒業の認定に関する資料

本校では、卒業認定方針を以下のように定めている。

カリキュラムポリシーに沿って設定した全ての科目を履修・修得しとして、以下の素養（能力）を身に付けたものに卒業を認定し、専門士を授与している。

- ・専門的知識・技術を身につけ、科学的思考により看護診断を行い、問題解決できる能力を持つ。
- ・人間に深い関心を持ち、生命の尊厳と人格を尊重して行動できる。
- ・看護は生涯学習であることを認識し、自主的に学習でき、習得した基礎知識・技術を発展させ、看護の向上に寄与することができる。
- ・医療を包括的にとらえ、医療チームの一員として協調的・主体的に行動でき、また調整的役割をはたす能力を持つ。
- ・高齢化社会において、継続看護・在宅看護の重要性を理解し、地域住民のニーズに応えることができる。
- ・看護することに喜びを感じ、意欲的・協調的・研究的態度で行動することができる。
- ・社会情勢の変化・医療の進歩に関心を持ち、看護の専門性をたかめるよう努力することができる。

毎年、2月の卒業判定会議を実施し、議事録を残している。あらかじめ設定した成績評価の方法、基準を学則細則に明記しており、規準に従って厳正かつ適正に単位授与又は履修確認を実施している。学則細則についてはキャンパスガイドで提示している。